

## 『患者必携 わたしの療養手帳』の使い方

治療に向かう段階ごとに、重要な情報やあなたが大切にしたいことが変わってきます。次のページの目次にあるように、あなたの状況に合わせて、説明されたことや、あなたの希望を書き込んでいきましょう。診断されて1年ぐらまでの利用を目安につくられています。すべてを書き込む必要はありませんし、別のノートに書いても構いません。医療機関で受け取った資料、がんに関する冊子、地域の情報を集めた『地域の療養情報』\*などとともに、市販のバインダーと一緒に綴じて使うと便利です。あなたの療養生活に役立つ情報を集めた1冊としてご活用ください。

\*地域における『地域の療養情報』の取り組み状況については、お近くの「がん診療連携拠点病院」などのがん相談支援センターにお問い合わせください。

▶ 『患者必携 がんになったら手にとるガイド 普及新版』の▶P78「地域の療養情報」、または、表紙の裏側の図もご参照ください。

- 本書で用いている、がんの診断や治療に関する情報や、がん診療連携拠点病院・がん相談支援センター・公的医療保険制度・介護保険制度など、制度に関する情報は2013年7月時点（一部、2017年1月時点）のものに基づいています。診断や治療の進歩、制度の変更や改正により、本書の内容が最新でない場合があります。
- 最新の内容はお近くの「がん診療連携拠点病院」などのがん相談支援センターにお問い合わせいただくか、国立がん研究センターの「がん情報サービス (<http://ganjoho.jp>)」などをご参照ください。